

法令関連

動物の愛護及び管理に関する法律第10条第1項関係により、「販売をしようとする動物の特性及び状態に関する情報の顧客への提供」が義務付けられています。まずは、下記のイ～ソについて、ご一読いただき、ご理解のうえ、飼育の検討をしてください。

イ. 取り扱い品種

トイプードル:プードルは4バラエティに分けられ、体高28cm以下をトイプードルといいます。とても小さい子をティーカッププードルと呼んだりしますが、その子たちもトイプードルという品種です。

ロ. 性成熟時の標準体重、標準体長

当施設では2～3kgくらいのトイプードルが多いです。2kg以下の子もいますし、3kgを超える子もいます。体長は18～30cmくらいの範囲です。

ハ. 平均寿命

14,5年くらいが平均でしょう。トイプードルに限らず、小型犬は老齢では心臓病が多発します。その病気の進行状況や治療内容で予後に変化があるでしょう。

ニ. 飼養又は保管に適した飼養施設の構造および規模

トイプードルは室内で放し飼いにされているかたが多いようです。寝る場所としてはカドラーなどのベッド類、排泄するためのトイレ類などが必要です。放し飼いにしないなら、サークルなどの中に、それらを設置して、十分な広さをとることができるようなものを用意してあげてください。

ホ. 適切な給餌及び給水の方法

トイプードルに限りませんが、給餌はまずライフステージに合ったドッグフードを用意します。動物病院には科学的に研究された優れたフードがありますので、それらをお勧めします。市販されているフードから選ぶ場合は、いわゆる一流メーカーの総合栄養食と表示があるものを与えてください。生後半年くらいまでは1日3回に分割給餌するのがよいでしょう。子犬はまだ消化吸収能力が完成していないので、それ以下にすると、おなかをこわしたり、吐いたりする原因になるかもしれません。

ドライフードを与える場合には、水は必須です。いつも新鮮な水が飲めるようにしてあげてください。

へ. 適切な運動及び休養の方法

トイプードルを室内で放し飼いをしている場合には特別な運動は必要ないでしょう。その際はできるだけスキンシップをとってあげてください。その子にとってあなたはたった一人の家族なのでから。

外出での散歩もいい気分転換になるので、ぜひ実施してください。ただし、最低限のマナーを忘れずに。

ワンちゃんにも、邪魔されない一人になれる場所が必要です。カドラーなどのベッドで、自由に休めるようにしてあげてください。飼い主様と一緒にベッドで寝るのは絶対にやめましょう。その子の将来を考えたらできないはずです。

ト. 主な人と動物の共通感染症その他当該動物がかかるおそれの高い疾病の種類およびその予防方法

主な人獣共通感染症

回虫幼虫移行症 寄生虫卵を飲み込むことで感染します。ヒトでの発症は眼型と内臓型に分類されます。幼児の感染被害の報告が多いです。犬に対し定期的な駆虫を行ない、特に幼児には手洗いの励行を指導してください。

皮膚糸状菌症 接触により感染します。定期的にシャンプーを実施しましょう。一緒に寝るなどの過度のスキンシップは衛生的にも、しつけとしても、避けるべきです。

ノミ症 時にヒトが刺されたり、アレルギーをおこしたりします。犬に対する定期的なノミ駆除の励行で、予防することができます。

レプトスピラ症 ヒトへの感染経路は主に皮膚からです。ヒトが感染した場合には致命率は約10%との報告があります。犬への予防接種を定期的実施することで予防できます。

狂犬病 ヒトへの感染は主に咬傷からです。発病すれば助かる見込みはまずありません。犬への定期的な予防接種が法律で義務付けられています。

トイプードルでの発生が多い疾病

進行性網膜萎縮 遺伝性の疾患で、検査センターで遺伝子解析ができます。幸いなことに当施設での発生はありません。まず暗いところで物にぶつかったりし、徐々に眼が見えなくなっていくます。根本的な治療方法はありますが、抗酸化剤などで進行を遅らせます。

乳歯遺残トイプードルを含め、小型犬は口も小さいために、歯の抜け替わりが悪く、永久歯が生えても、乳歯が抜けられないことがあります。放置しておくと、歯並びが悪くなり、歯周病の原因になるので、全身麻酔をかけて、早めに抜歯する必要があります。

外耳炎トイプードルは耳の中に被毛が密生するので、いったん細菌やカビが増殖すると、治りが悪くなります。日頃から定期的に耳のケアの習慣をつけましょう。

膝蓋骨脱臼いわゆる膝のお皿が外れることをいいます。トイプードルは遊び好きで、ジャンプをすることがありますが、それが癖になるとますますひどくなり、放置すれば、骨が変形して歩けなくなります。手術により膝蓋骨を固定補強します。

レッグペルテストイプードルに限らず、小型犬に多く見られます。股関節が不自由になり、痛みを生じ、放置すれば歩けなくなってしまいます。手術により大腿骨の関節部分を切除して、痛みを取り除きます。

僧帽弁閉鎖不全症心臓の中にある逆流防止のストッパーである僧帽弁がうまく機能しなくなり、血液循環に破綻をきたし、心不全へと進行します。トイプードルに限らず、小型犬で非常に多く発症します。完全治癒は望めない病気ですが、内科的に有効な薬がありますので、それらを服用するなどのケアをします。

チ. 不妊又は去勢の措置の方法及びその費用(哺乳類に属する動物に限る)

トイプードルでは、必要なワクチン接種が終わった時点で、雄は去勢手術、雌は不妊手術をお勧めします。特に雌は初回発情を迎える前に手術することで、将来的に生じる乳腺腫瘍の発生率を顕著に下げることがあります。病院によって手術内容が異なりますので、費用についてはかかりつけの獣医師にご相談ください。

リ. みだりな繁殖を制限するための措置(不妊もしくは去勢の措置を不可逆的な方法により実施している場合を除く)

雄は性成熟を迎えた後はいつでも繁殖可能ですので、ほかの雌に近付かないように飼い主の注意が必要です。雌は発情期が約7ヵ月周期で訪れますので、その時期、特に散歩時には、ほかの犬とのトラブルを避ける慎重な行動が要求されます。

ヌ. 遺棄の禁止その他当該動物に係わる関係法令の規定による規制の内容

トイプードルに限らず、どの動物も遺棄は法律で禁止されています。

ル.性別の判定結果

こちらで販売しているトイプードルは、お引渡しの際に、性別については、必ずお話をさせていただいております。

オ.生年月日(輸入等をされた動物であって、生年月日が明らかでない場合にあっては、推定される生年月日及び輸入年月日等)

こちらで販売しているトイプードルはお引渡しの際に、生年月日については、必ずお話をさせていただいております。血統書には、生年月日の記載がありますが、申請受取までに期日を要します。

ウ.不妊または去勢の措置の実施状況(哺乳類に属する動物に限る)

基本的には未実施の状態でお引渡ししますが、ご希望があれば実施します。

カ.生産地等

当施設で繁殖したトイプードルだけをお渡ししております。

ヨ.所有者の氏名(自己の所有しない動物を販売しようとする場合に限る。)

当施設で生まれたトイプードルだけを販売しておりますが、当施設開設者の氏名の記載がある別紙をお渡しします。

タ.当該動物の病歴、ワクチンの接種状況等

別紙に記載したものをお渡しします。

レ.当該動物の親及び同腹子に係わる遺伝性疾患の発生状況(哺乳類に属する動物に限り、かつ、関係者からの聴取り等によっても知ることが困難であるものを除く。)

当施設では現在のところ、トイプードルの遺伝性疾患の発生は認められておりません。

ソ.イからレまでに掲げるもののほか、当該動物の適正な飼養又は保管に必要な事項

別ページ(“お願い”)でいろいろな情報のご提供をさせていただいておりますので、ご参考になさってください。